

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	児童館管理運営					所管	教育委員会 児童保育課		
	行政計画	事業NO.	225	計画事業名	こどもクラブ・児童館の整備	事業の開始・終了年度			
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成					[事業開始] 昭和44年度		
		[小 柱] (3) 社会を生き抜く力を育てる教育の推進					[終了予定] - 年度		
		[施 策] ④児童・生徒の放課後の居場所づくり							
根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区立児童館条例						
事業対象	主に区内在住の乳幼児から高校生とその保護者								
事業目的	児童福祉法第35条(児童福祉施設の設置)、第40条(児童厚生施設)に基づき、児童に健全な遊びを与えることによりその健康を促進し、豊かな情操の育成に寄与する。								
事業内容	児童の健全育成を目的とし、個別的・集団的な遊戯の指導や図工及び音楽の指導、野外活動を行う。 児童館8館(千束、玉姫、台東、池之端、松が谷、今戸、寿、谷中)								
委託の有無	全部委託(指定管理)	委託内容	管理業務委託						
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度		
	活動指標	児童館設置数	館	8	7	8	8		
		開館日数	日	329	334	331	332		
	成果指標	利用者数	人	250,000	224,339	285,755	284,936		
		決算額 (単位:千円)						255,365	312,987
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			5,101	6,293	4,904		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			255,286	307,353	308,023		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			80	5,635	0		
		総経費			260,467	319,281	312,927		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			12	0	0		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			713	2,849	1,312				
一般財源(区負担額)			259,742	316,432	311,615				
前回評価から改善した事項	平成28年度からは、全児童館で高学年児童の放課後の居場所づくりとしてランドセル来館(小学校から直接児童館に来館して帰宅時間まで過ごす)事業を拡充し、実施した。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	幼児から中高生まで幅広く「安全・安心な居場所」として利用されている。季節を取り入れた行事、異年齢交流が図れる行事など多彩な事業を全館で実施しており、児童館事業のニーズは高まっている。						
	効率性	3	人件費等の、人にかかるコストを抑えつつ、昨年度と同程度の利用者数を達成するなど、効率的な運営ができています。						
	手段の適切性	3	乳幼児親子や小学生から高校生まで、学校や子ども家庭支援センターなどの地域の関係機関と情報共有や連携を図って、効果的な健全育成が図られている。指定管理者に対しては、業務基準書に基づき、適切な運営を行うように指導・助言を行い、児童厚生施設として児童の健全育成としての手段は適切である。						
	目的達成度	4	大規模改修に伴う仮移転につき、利用者数の減少があったものの、全体においては、昨年とほぼ同じ利用者数を達成した。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
乳幼児親子から中高生まで、幅広い世代の利用の定着が図られ、多くの児童、保護者の児童健全育成の拠点として機能しているため、引き続き実施していく。						維持			